

不登校特例校設置意向調査結果概要

心の支援課

□趣旨

現在、県教育委員会では不登校の児童生徒の多様な学びの場の選択肢の一つとして、年間の総授業時間数の低減や弾力的な教育課程の編成などが可能である不登校特例校の設置に関する議論を進めており、今後の不登校特例校設置検討の参考とするため、令和5年2月の意向調査に続き、市町村教育委員会における不登校特例校設置の検討状況を把握するため、再度本調査を実施

□主 体 長野県教育委員会事務局 心の支援課

□項 目 不登校特例校（学校設置型、分教室型）の設置意向の有無、設置検討に係る課題 等

□対 象 県内全市町村教育委員会 （77 市町村）

□結 果【概要】

1 不登校特例校（学校設置型、分教室型）設置意向について

- ・設置に向けて検討…0 市町村
- ・設置するかしないかを含めて検討中…14 市町村（8 市 3 町 3 村）
- ・設置は考えていない…63 市町村 5 学校組合

2 設置検討に係る課題について（複数回答）

※「設置に向けて検討」「設置するかしないかを含めて検討中」と回答した市町村が回答

	内 容	件数	
		学校設置型 (9 市町村)	分教室型 (12 市町村)
ア	運営費、施設・設備整備費、市町村費職員の人件費等が生じること	8 件	11 件
イ	市町村費職員の確保の難しさ	6 件	10 件
ウ	不登校の児童生徒のニーズ把握	4 件	7 件
エ	施設の確保や立地に係ること	6 件	8 件
オ	不登校特例校と教育支援センター（中間教室）とのすみ分けの難しさ	1 件	3 件
カ	単独設置の難しさ	4 件	3 件
キ	その他	0 件	0 件

3 不登校の児童生徒への支援について（複数回答）

※ 全市町村教育委員会が回答

C-1 貴教育委員会において、これまで、あるいは現在重視している不登校の児童生徒への支援について選択してください。

C-2 貴教育委員会において、今後重視したいと考えている不登校の児童生徒への支援について選択してください。

	内 容	件数	
		C-1	C-2
ア	教育支援センター（中間教室）の増設や機能拡充	42 件	42 件
イ	フリースクール等との連携強化	22 件	33 件
ウ	校内サポートルームなど、学校における支援の充実	53 件	41 件
エ	ICT 等を活用した支援の充実	42 件	37 件
オ	新しい支援内容は検討していない※	5 件	8 件
カ	その他	5 件	5 件

※ C-1、C-2 ともにオを選択した市町村は 4 町村

C-1 カ その他

- ・チャイルドサポートによるアウトリーチ
- ・授業づくり、集団づくり
- ・地域おこし協力隊との連携
- ・障害者施設との連携を模索している
- ・放課後デイサービス等の第三の居場所づくり利用
- ・福祉部局と連携した子どもの学習支援と居場所づくり、NPO と連携した子どもの居場所づくり

C-2 カ その他

- ・アウトリーチの拡充
- ・支援対象者の人数、状況がまちまちなので自治体規模でどのような対応が最適なのかの研究・検討を行っていききたい。
- ・授業づくり、集団づくり
- ・学校教育支援主幹主事等教育委員会配置職員による学校との連携

4 不登校の児童生徒への支援を推進していく上での課題について（〔 〕内は記述市町村数）

- ・市町村の教育支援センターや校内支援センターの人員の確保（人員不足）〔18〕
- ・予算や財源の確保（人件費、施設整備費等）〔10〕
- ・教育支援センターの施設確保、整備、拡充（コーディネーターの配置等）〔6〕
- ・フリースクール等民間施設への支援、フリースクール等民間施設を利用する児童生徒・保護者への支援（送迎や金銭面等の支援）〔7〕
- ・教育委員会（教育支援センター）、学校、フリースクール、保護者等の連携体制の整備や情報共有〔6〕
- ・ICTを活用した支援の充実（授業配信等教職員の技術力向上等）〔5〕
- ・教職員の意識改革〔1〕
- ・教育支援センターの児童生徒・保護者への周知〔1〕
- ・近隣市町村との連携〔1〕